

## 第 5 章 ダイオキシン類調査結果

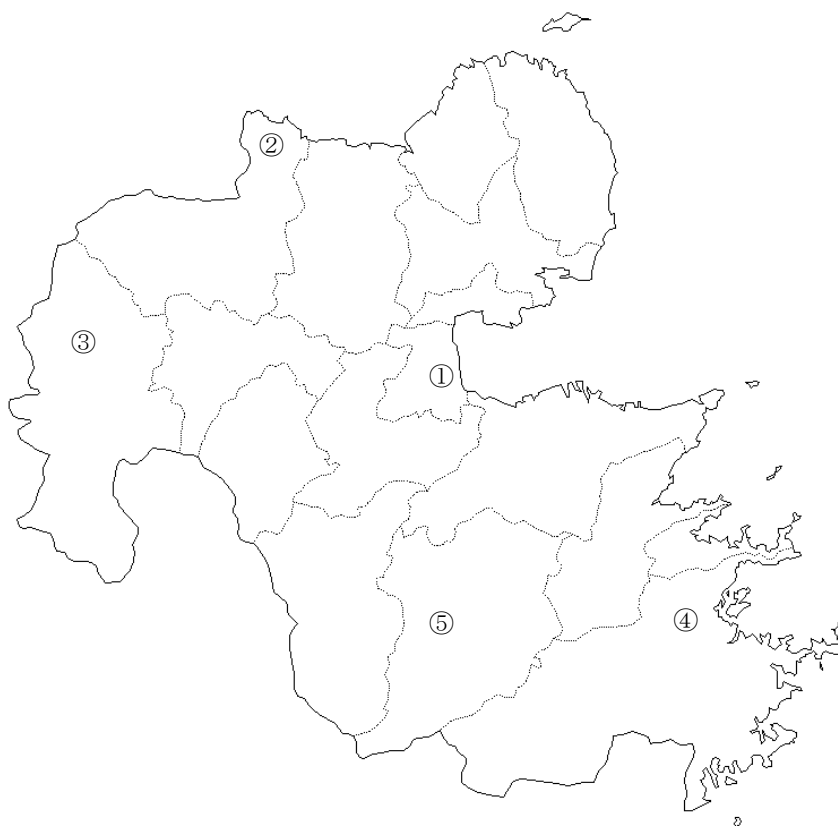
県内のダイオキシン汚染の実態を把握するため、平成 10 年度から大気の調査を行っている。

令和 4 年度は、県内 5 市の計 5 地点を対象に、大気環境中のダイオキシン類の調査を行った。

〈調査地点・期間〉

調査地点：別府市、中津市、日田市、佐伯市、豊後大野市の計 5 地点

調査期間：令和 4 年 9 月、令和 4 年 12 月



番号	地域区分	調査地点
①	一般環境	東部保健所 (別府市)
②		中津総合庁舎 (中津市)
③		西部保健所 (日田市)
④		佐伯市弥生振興局 (佐伯市)
⑤		豊後大野市緒方支所 (豊後大野市)

〈調査方法〉

ハイボリウムエアサンプラーにより気体状及び粒子状のダイオキシン類を捕集し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置により分析を行う。

毒性等量の算定は、WTO-TEF(2006年)による(検出下限値以上定量下限値未満はそのままの値を、検出下限値未満は検出下限値の1/2を用いて毒性等量を算出)。

〈調査結果〉

各調査地点ごとの調査結果を表5-1に示す。

各地点の測定値は0.0038~0.021pg-TEQ/m<sup>3</sup>の範囲内にあり、全調査地点とも環境基準値の0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>を下回っており、環境基準を達成した。

表5-1 ダイオキシン類調査結果

(単位:pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

調査地点名		試料採取年月	測定濃度	地点別平均濃度	環境基準	備考
一般環境	① 東部保健所	4年 9月	0.0057	0.0060	0.6	(地点別平均の平均値) 令和3年度 0.0071 令和4年度 0.0072
		4年 12月	0.0063			
	② 中津総合庁舎	4年 9月	0.0066	0.0068		
		4年 12月	0.0069			
	③ 西部保健所	4年 9月	0.0063	0.014		
		4年 12月	0.021			
	④ 佐伯市弥生振興局	4年 9月	0.0038	0.0044		
		4年 12月	0.0049			
	⑤ 豊後大野市緒方支所	4年 9月	0.0044	0.0053		
		4年 12月	0.0062			

- ・測定結果は、ホリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ホリ塩化ジベンゾフラン及びコプラナーホリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB)の合計値である。
- ・pg-TEQ/m<sup>3</sup>は、空気1m<sup>3</sup>当たりのダイオキシン類の量を示す。
- ・pgは1兆分の1グラム。TEQは毒性等量で、ダイオキシン類には222種類(異性体)があり、毒性は異性体ごとに異なるため、測定対象の29物質の濃度を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの濃度に換算し、合計したものである。